

第4回CUDチェック会 JR新型車両特急ひだ号を見に行こう！ アンケート集計報告

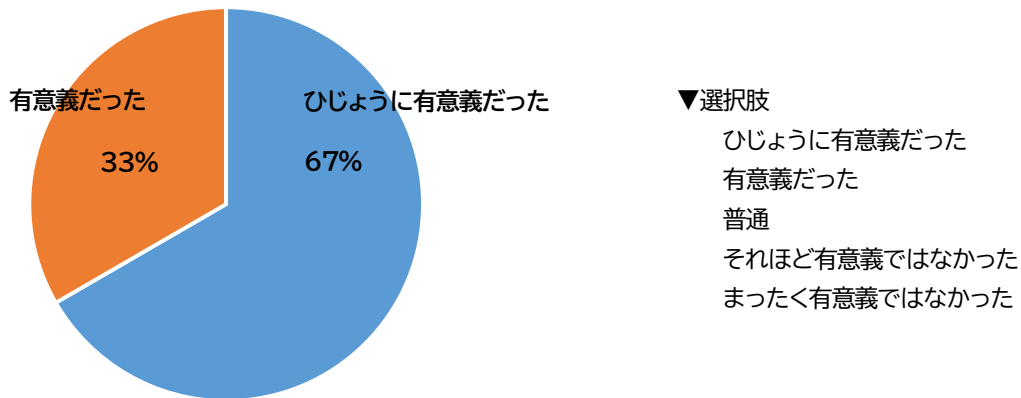
実施日：2023年06月24日(土) 9:00～14:00

主催：NPO人にやさしい色づかいをすすめる会

参加人数：7人

アンケート実施期間：2023/06/24～2023/7/15、アンケート回収：6人(回答率 86%)※
2023/07/15 集計報告作成

Q1:本日の「JR 新型車両特急ひだ号を見に行こう！」はいかがでしたか？(1つ選択)



Q2:JR の車両および岐阜駅構内を見学し、CUD の視点から改善が必要と感じたことはありますか？ (記述回答)

- ①ホームに設置されている非常停止ボタン上部に貼られた注意書きシールの色づかい
- ②シールの地色は黒で文字が白抜き、7 行のうち 2 行が赤字になっている(「ボタンを押した場合は、速やかに乗務員または駅員までお知らせください」の 2 行)。
- ③ボタン自体の色(黄と赤)やボタン周囲のサインはひじょうに見やすくできている。問題は、ボタンとシールを大きく示したポスター。CUD の視点から NG の典型である黒地に赤文字が使われていることに少々驚きを感じた。改善として、赤を橙に寄せて明るくするとよい。

- 流れる表示において、色の違いが判らないことがあった。(車内ディスプレイ、岐阜駅の案内板)
HC85 系の車内ディスプレイは、従来車のものより鮮やかだと思うが、色づかいは改良の余地があるように思う。色を使いすぎているのかもしれない。

- 車内行先案内液晶表示
CUD 認証されているだけに見やすいと思った。文字が大きくなっているだけでなく、見やすく感じるのは、背景色が白の場合の文字色明るい緑や明るい青、背景色橙と文字色黄の場合は、明度差が少ないことを意識して文字の境界に黒の縁取りが入っているので文字が読みやすくなっている。しかし、文字の見やすさは外光の加減で変化した。

車外列車案内 LED・車両側面

これも CUD 認証されているだけに見やすい。背景色橙と文字色は、黒で境界線だけでなく影が付いている。外光で見にくくなることを意識して付けられているようだ。

岐阜駅ホーム列車ご案内電光表示

上段には、赤(車両名)、緑(発車時刻・行先・両数)、下段のアナウンスには、上段で使われている赤、緑に加えオレンジを含む3色が使われていた。P型強度の人には緑とオレンジはほぼ一緒に赤は少し暗いので見分けられるとのこと。「何色も使う必要があるのか」という発言もあった。背景色は黒なので、3色を見分けられるよう、緑を薄くして明度を高くすることでオレンジと明度差をつけるか、或いは、オレンジの方を黄色に近づけて明度を高くし緑との明度差をつけると、3色が見分けやすくなるかと思った。

岐阜駅ホーム SOS 非常停止ボタン表示

白背景色に文字色黒、赤背景色に白の文字とピクトグラム、黒背景色に白の文字色は読みやすかった。一か所、黒背景色に赤文字で「ボタンを押した場合は、速やかに乗務員または駅員までお知らせください」となっていた。赤文字にした意図は上下の文字が白なので単に変化をつけただけなのか、強調の意味なのだろうか。この黒背景色に赤文字はP型強度の人にも一応読めますと言っていたが、もっと明度差がつくオレンジの方が目立って、より多くの人に読みやすいのではないかと思った。

●JR 車両

- ①対象箇所… 車内案内表示装置(フルカラーLED表示器)
- ②現状… 明暗がはっきりしており見やすいのですが薄い色は見づらく感じました。
- ③改善方法の提案…フルカラーなので色の反転や組み合わせ、トリミングなどでより見やすくなるのではないかと思います。

岐阜駅構内

- ①対象箇所… 駅改札前、列車案内表示
 - ②現状… 3色LED(赤・緑・橙)の表示は暗く色の区別を感じません。
 - ③改善方法の提案…おそらくフルカラーLED案内版は普及しつつあると思いますが、現在の3色LEDは、もう少し明暗があると見やすくなるのかな？と感じました。
-
- ①対象箇所…改札前広場、きっぷ売場
 - ②現状… 色があふれていてそれなりに区別はできましたが、その中であえて白黒色の案内所、白地に黒文字表示が目を引きました。
 - ③改善方法の提案…私の色覚では明るさを暗く感じるようなので、明るく見えれば見やすくなるのかな？と感じました。

●改善が必要だと感じた点は、特にありませんでした。

●そもそもデザイン設計の段階でどこからどこまでを配慮してカラーデザインされているのかが気になりました。P型・D型強度の方を対象にされているのであれば、オレンジとグリーンの文字配色は不適切かもしれませんが、C型やP型・D型弱度の方には何の問題もありません。黒背景に赤文字は見えづらいですね。

Q3: ツアーに参加した感想を自由にお書きください。(記述回答)

●色弱当事者の方と見え方の違いを語りながら、いろいろ観察することがとても楽しく、有意義。多くの気づきがありました。たとえばホームの電光掲示板の文字色。黄緑と橙の差があまりない。これをどう考えるべきだろう？C型色覚者にとってこの色分けの必要性はどれほどある？強調すべき言葉のみ色を変えればよい、つまり2色だけの方が効果的では？等々、普段考えもしないことに気づける、楽しい集いとなりました。

●今回は、参加者が少人数だったので、意見交換がしやすかった。
車内表示はめまぐるしく変化するので、見続けることは想像していた以上に大変だった。

●やはり現地で多様な色覚の人が同じ対象物を一緒に見ながら、見やすさを確認できるのは、ひじょうに有意義なことと思った。お互いに色の見え方の違いについて新たな気づきが多い。比較的少人数の参加者だったため、会話を共有できる場面が多かったが、人数が増えた場合は、グループで移動、各グループによる気づきの共有時間なども十分取れるようにする必要がある。

●問1での選択理由…ひじょうに有意義だった…
一個人ではなかなかチェックする機会も少なく、色覚タイプの違う方々と見え方、感じ方を見聞きすることは、とても有意義でした。新しい発見もありました。

運営面での改善点等も含めて…
事前に資料を受け取りながら、予習できず申し訳ない限りです。資料作成、送信に感謝です。

●参加して良かったです。
当会の会員の方と、直接話すことができ相互理解が進みました。

●障害者差別解消法が公布され、点字や CUD が普及するきっかけとなるのか。大手企業は CUD に対してどれだけの対応を検討しているのか。今後の取組が気になりました。

Q4:今後どのような企画(今回のような CUD 事例を見学するツアー、講演会やワークショップ等)を希望しますか?(記述回答)

●・動物園, 植物園, 水族館, 博物館や美術館等の博物館施設見学(サインを見る)
・ショッピングセンターや商店街でのショッピング(好きな色, 似あう色, 美しい色等, 色について身近な対象について自由に語り合う)

●博物館などの施設の各種案内をチェックして見たい。

●今回のような CUD 事例を見学するツアーや色弱者間、色覚タイプの共通認識ができる機会…在宅 zoom 勉強会的なものの機会があればと思います。

●CUD 事例を見学チェックするツアーが良いと感じました。
コロナで活動が停滞していたので会員のやる気が減退しています。今回のようなツアーを実施することで、会員同士の連帯感を強め、会の存在感を増すことができると思います。
講演は、新たな情報を教えてもらえるなら意義がありますが、そんな新鮮な情報がそうそうあるとは思えません。

●現地で見るのは勉強になります。出来れば設置担当者の方の配色意図を聞きながら回れると良いと思います。

以上